



総称は「マスクガーデン」
は三つのグループ
となる予定。すで

小泉アパレルは10月から、量販店、チェーン専門店に向けてコロナ下での生活変化への対応商品としてマスクの販売を始めた。マスク商品の総称は「マスクガーデン」。参考販売価格は

780〜980円。

「機能性とファッション性を兼ね備えたSDGs(持続可能な開発目標)の時代に寄り添ったマスク」をコンセプトとする。マスク着用が日常となり、

産地、色柄の種類豊富に

小泉アパレル、マスクを販売

量販店、チェーン専門店へ

に販売しているのは日本の伝統的な織物で作る「こだわり産地マスク」と、レース、ジャカード、プリントを使う「ファッションマスク」。両グループとも約100型を出し、バリエーションを強調している。21年3月

からはリナウンから引き継いだ「シンプurlライフ360」ブランドのマスクが加わる。

こだわり産地マスクは石川県の二越ちりめんや岡山県のデニム、福井県のレースなどを使い伝統的な織物を強調する。表地と裏地の間に抗菌・抗ウイルス技術「クレンゼ」を施したシートを挟む3層構造にして機能性もつた。

ファッションマスクは女性らしさを感じさせる素材に色、柄のバリエーションで特色を持たせ、売り場での華やかさも演出する。レースを使う商品の人気が高く、レース柄は毎月新たに50型を打ち出し、店頭の鮮度を保つ工夫もする。